



EON ONE PRO

ALL-IN-ONE RECHARGEABLE PA

取扱説明書

Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されているすべての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中に入れてください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、必ず付属の電源コードをご使用ください。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源コード等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れが有ります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、差し込むだけで使用できます。
15. 地域の法律に沿ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理はJBLの代理店にて行ってください。

目次

安全上の重要事項.....	2
メンテナンスと修理.....	3
はじめに.....	5
仕様.....	5
開梱とセットアップ.....	6
各部の名称.....	7
ケーブル.....	18
故障かな?と思ったら.....	19

はじめに

この度はJBL EON ONE PRO パーソナル PA をご購入いただき、誠にありがとうございます。
EON ONE PRO は、サブウーハー、高域用スピーカー、ミキサーがセットになった Bluetooth 対応のオールインワン PA システムです。リチウムイオン電池を内蔵しており、使用場所を選びません。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

仕様

システム	モデル	EON ONE PRO
	構成	LF: 8 インチ・ウーファー×1 HF: 2 インチ・ツイーター×6
	最大音圧レベル	118dB SPL(ピーク)
	周波数特性(-10dB)	37.5Hz - 18.5kHz
	周波数特性(-3dB)	45Hz - 18.kHz
	Bluetooth	オーディオ再生、コントロール
	USB ポート	供給電流 500mA
バッテリー	種類	大容量リチウムイオン電池
	充電時間	5 時間
	最大使用時間	6 時間
アンプ	クラス D 出力(ピーク)	250W (LF: 130W+ HF: 120W)
入力	端子・形式	6 チャンネル CH1&2: XLR/TRS フォン・コンボ CH3&4: バランス TRS フォン(HI-Z ON/OFF) CH5&6: RCA/3.5mm ステレオミニ
	インピーダンス	CH1&2: 40k Ω (バランス) CH3&4: 20k Ω (バランス)、5k Ω (HI-Z が ON、アンバランス) CH5&6: 10k Ω (アンバランス)
ファンタム電源		48V(CH1-4XLR)
モニター出力	端子・形式	モニターL/R: RCA(ステレオ)、パススルーXLR
	インピーダンス	モニターL/R: 100 Ω (アンバランス)

		パススルー:37Ω(バランス)
EQ		Bass、Treble シェルビングフィルター(±12dB)
カバレッジ(水平x垂直)		80°x60°
寸法	267x2023x400mm(HxWxD)	
質量	17kg	
電源	100V、50/60Hz	

開梱とセットアップ

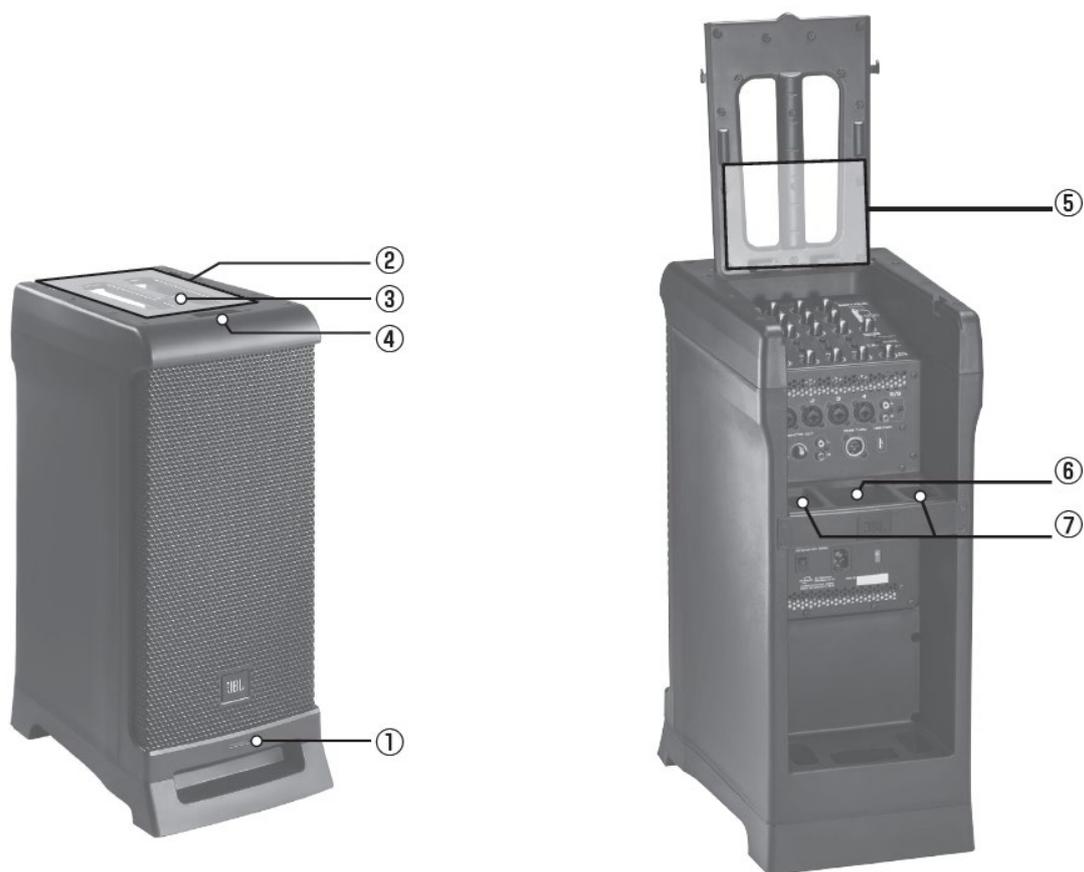
開梱

輸送時の破損がないことを確認してください。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。

梱包には次のものが含まれています。

1. 高域用スピーカーx1
2. 連結パーツx2
3. サブウーファー (パワードミキサー) x1
4. 電源コードx1

各部の名称



1. POWER インジケータ

電源が ON になっていることを示すインジケータです。

2. トップカバー

※注意：カバーの開閉時には指などを挟まないように注意してください。

3. トップカバー・ロック解除ボタン

トップカバーのロックを解除するボタンです。カバーを開けるときはボタンを前にスライドさせ、ロックを解除してからカバーを上げてください。閉めるときはボタンを前方にスライドさせてからカバーを下げてください。

※注意：ハンドルを持って本体を持ち上げる前に、カバーがきちんとロックされているか確認してください。

4. 高域スピーカー連結ソケット

高域用スピーカーを挿し込みます。また、連結パーツを挿し込んで高域用スピーカーの高さを調整します。

※注意：高域用スピーカーや連結ソケットを挿し込むときは、破損の恐れがあるためコネクタの向きに注意してください。ネジ穴がない面が正面を向くように奥までしっかりと挿し込んでください。

5. スタンド

携帯端末や資料などを置きます。下部のフックに置いて立て掛けて使用します。

※注意：衝撃や風などによって、置いた端末や資料が倒れたり、トップカバー自体が閉じてしまうことがあります。ご注意ください。

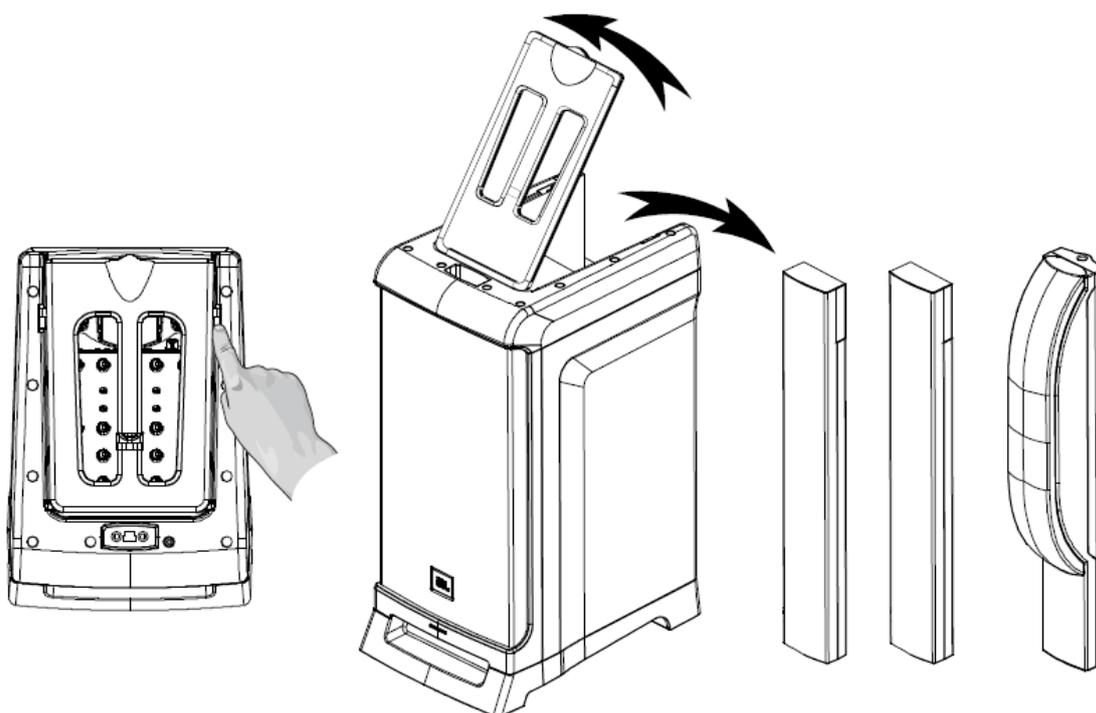
6. 高域用スピーカー収納部

高域用スピーカーを収納します。接続ソケットを下にしてグリルが正面を向くように収納してください。

7. 連結パーツ収納部

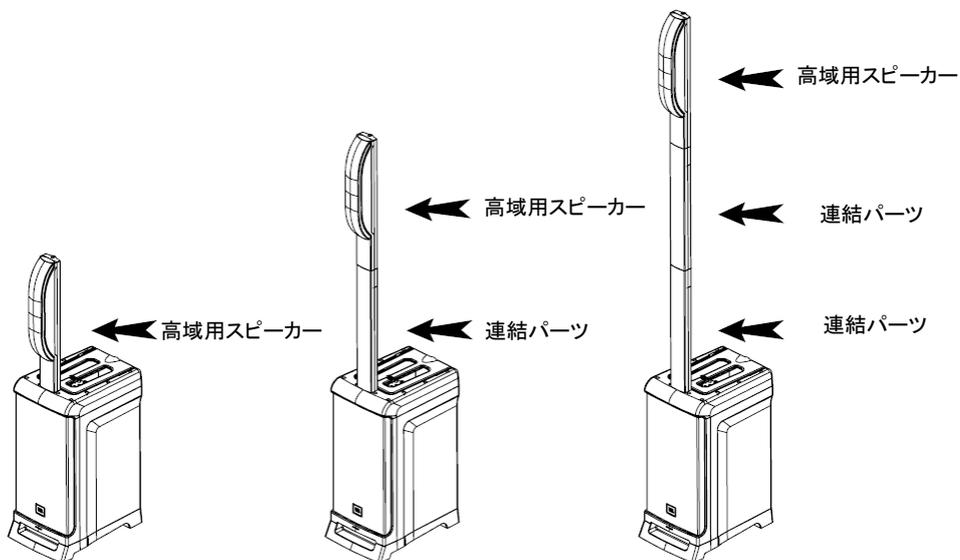
連結パーツを収納します。細くなっている接続ソケットを下にして入れてください。

セットアップ概要

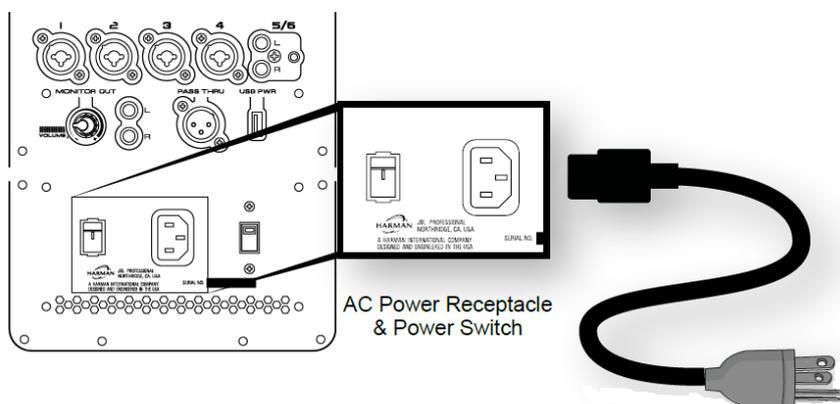


1. 本体を箱から取り出します。
2. ③ロック解除ボタンをスライドしてトップカバーを開けます。高域用スピーカーと連結パーツを取り出します。

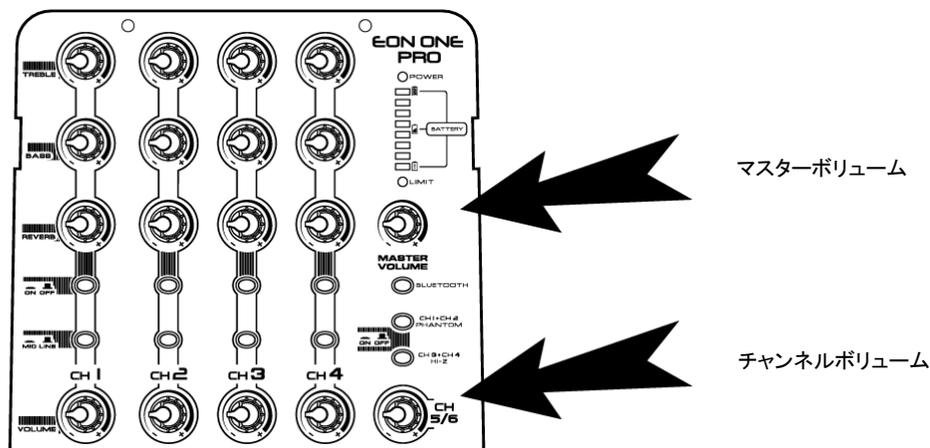
3. 聴く高さに合わせて、高域用スピーカーを連結パーツを利用して取り付けてください。



4. 電源コードを本体に接続してプラグをコンセントに挿し込みます。
バッテリーの充電が開始され、バッテリーレベルメーターが点灯します。フル充電まで
およそ5時間かかります。レベルメーターがフルの状態になり充電が完了します。



5. MASTER VOLUME を左一杯に回します。



6. 機器を接続します (CH1~CH4)。MIC レベル信号は XLR 端子、LINE レベル信号はフォン端子に接続します。機器の電源は OFF のままにします。

MIC/LINE ボタン

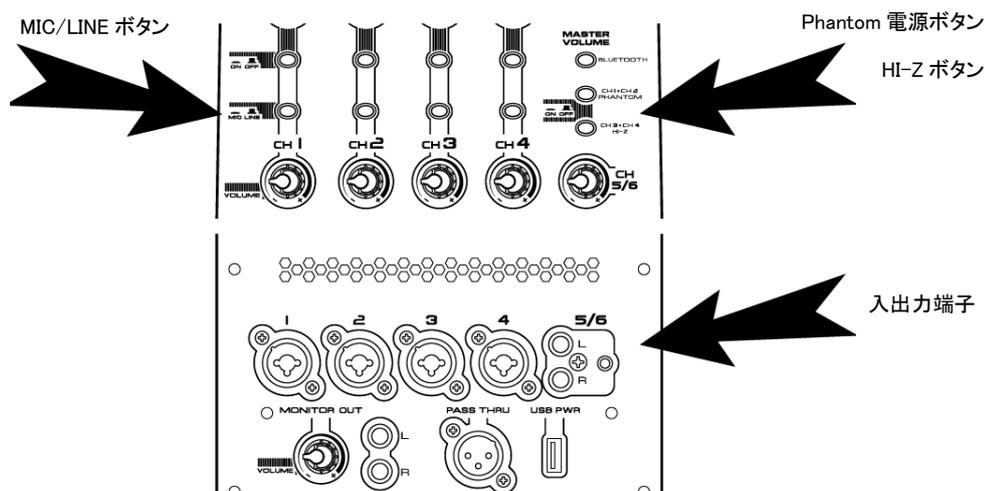
接続する機器に合わせて MIC/LINE を選択します。

CH1+CH2 PHANTOM ボタン

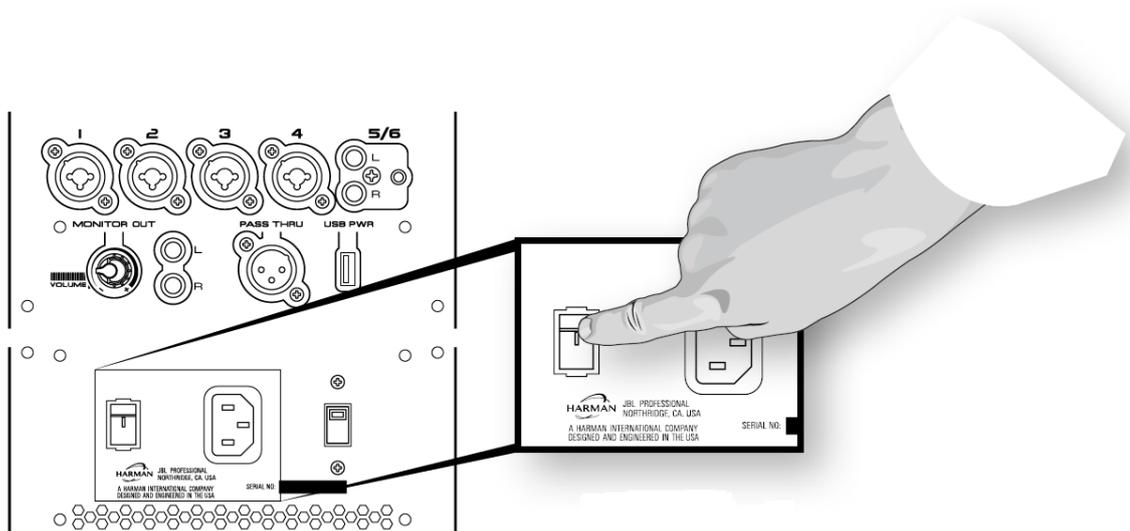
コンデンサーマイクを使用するときは CH1/CH2 に接続し、このボタンを ON にします。

CH3+CH4 HI-Z ボタン

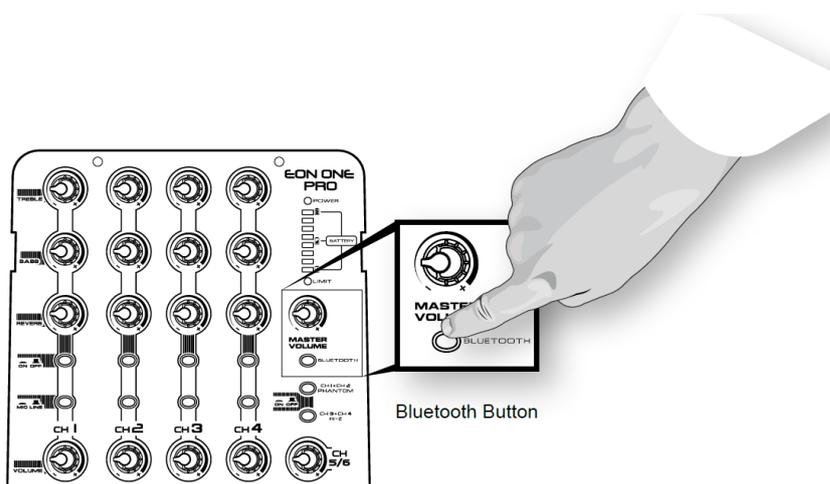
エレキギターなどのハイ・インピーダンス出力楽器は CH3/CH4 に接続してこのボタンを ON にします。



7. 電源スイッチを ON にします。フロントパネルとリアパネルの電源 LED が点灯します。



8. Bluetooth 対応デバイスを接続して再生するには次の手順に従ってください。
- 対応デバイスの Bluetooth を有効にします。
 - 本製品の BLUETOOTH ボタンを押します。
 - 対応デバイスから JBL EON ONE PRO を選択します。



9. 各チャンネルのボリュームつまみを 12 時の位置に回します。
10. **MASTER VOLUME** を任意の位置までゆっくり右に回します。
11. 各チャンネルのボリュームを回し、ミックスのバランスを調整します。**Bluetooth** ストリーミングのボリュームはデバイス側で調整してください。
12. **TREBLE**、**BASS** を回してトーンを調整します。ボーカルチャンネルなどにリバーブを掛けたい場合は、**REVERB** を回します。

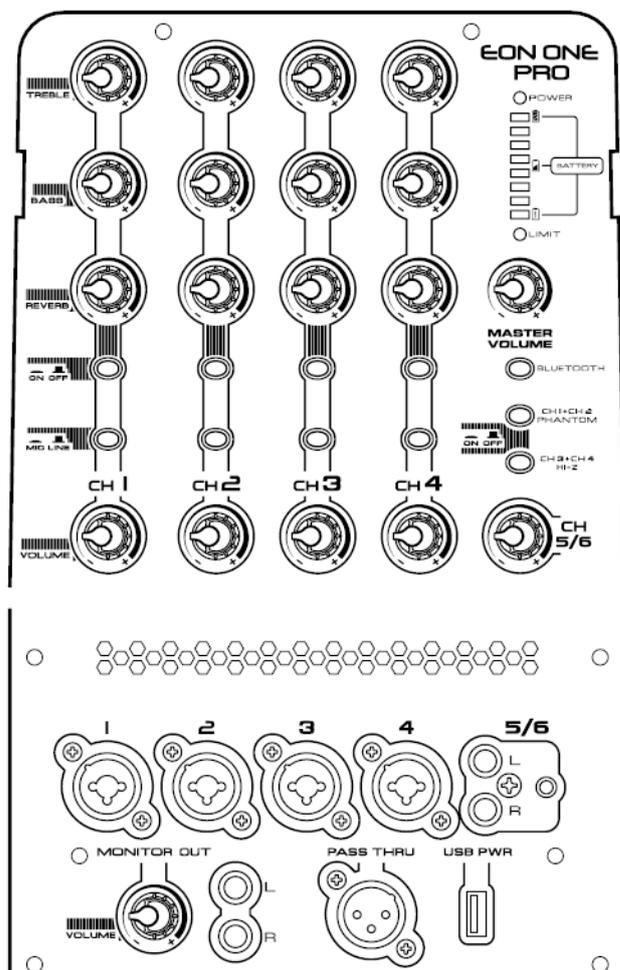
PA の基本

ミキサーは、入力チャンネルの信号をミックスして出力するデバイスです。異なるレベルの入力信号をミックスし、各チャンネルの音質を調整します。ミキサーからの信号はアンプ、さらにスピーカーに伝わります。EON ONE PRO はこれらの機能を 1 つにまとめた PA システムです。

EON ONE PRO

本製品はミキサーとアンプを搭載していて、マイク、楽器、外部音源（MP3、CD プレーヤー、Bluetooth オーディオ機器）などを接続することができます。

MONITOR OUT にはレコーディング機器や拡張スピーカーなどを接続することができます。



音声信号入力

EON ONE PRO には 7 つの入力端子が用意されています。

CH1&2 : XLR/TRS フォン・コンボ

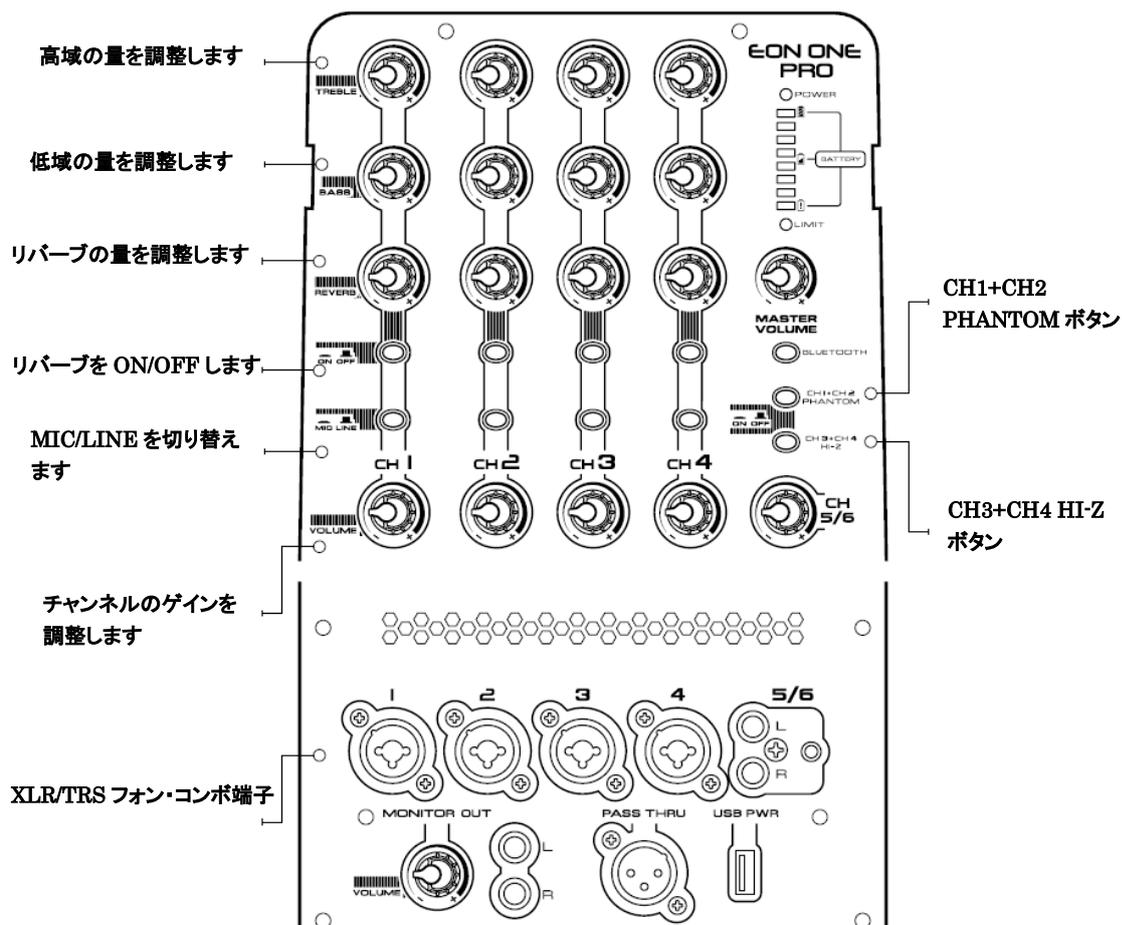
CH3&4 : バランス TRS フォン+RCA

CH5&6 : AUX3.5mm ステレオミニ

Bluetooth : 対応機器からストリーミング再生を行うことができます。

MONO MIC/LINE 入力

4 つの入力チャンネルがあり、それぞれに TREBLE、BASS、REVERB、REVERB ON/OFF、MIC/LINE、VOLUME、XLR/TRS フォン・コンボ入力端子があります。パネルの右側には CH1+CH2 PHANTOM ボタン、CH3+CH4 HI-Z ボタンがあります。

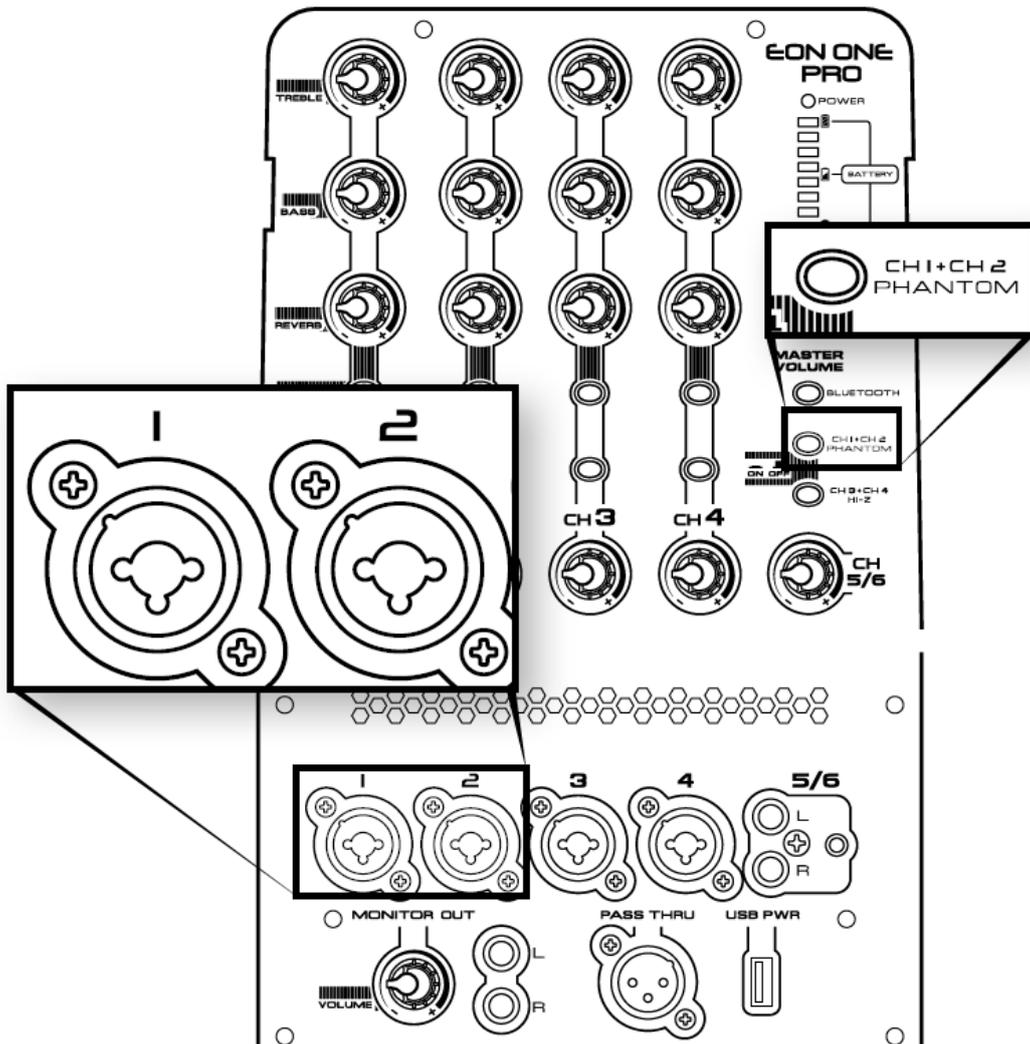


ファンタム電源

コンデンサーマイクを使用するときは、CH1+CH2 PHANTOM ボタンを押して+48V ファンタム電源をコンデンサーマイクに供給します。使用しない場合は必ず OFF にしてください。

ファンタム電源を ON にする手順

全ての出力ゲインをゼロにしてから CH1+CH2 PHANTOM ボタンを OFF にし、コンデンサーマイクを接続して最後に CH1+CH2 PHANTOM ボタンを ON にします。



注意

CH1+CH2 PHANTOM ボタンが ON になっているとき、XLR 端子にアンバランス音源を接続しないでください。故障の原因となることがあります。

ステレオ入力

本製品はステレオ入力（CH5/6）を備えていて、MP3、CD プレーヤー、キーボード、プリアンプ、電子ドラムなどを接続することができます。

CH5/6

RCA 端子/AUX3.5mm ステレオミニ



ステレオ信号ボリュームコントロール



Bluetooth 入力

本製品は外部音源を再生したり、バックトラックとして使用するために、Bluetooth オーディオ再生機能を搭載しています。最初に Bluetooth ボタンを押し、本製品の Bluetooth を有効にします。次に、Bluetooth デバイス側から EON ONE PRO を選択してペアリングを行います。ペアリングが確立すると、BLUETOOTH LED が点灯します。音量レベル調整は Bluetooth デバイス側から行います。



**MASTER
VOLUME**



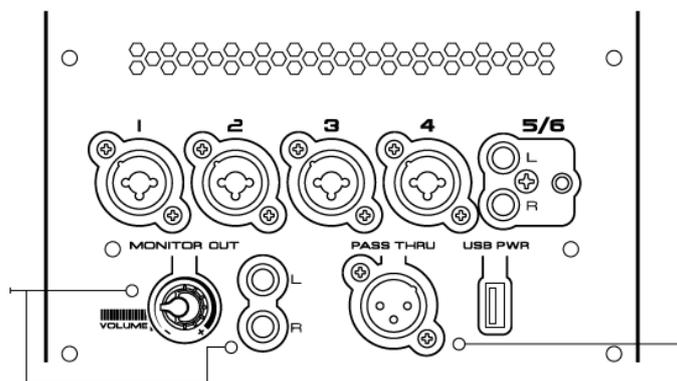
オーディオ信号出力

MONITOR OUT

レコーディング機器やモニタースピーカーなどの PA 機器に接続します

PATH THRU

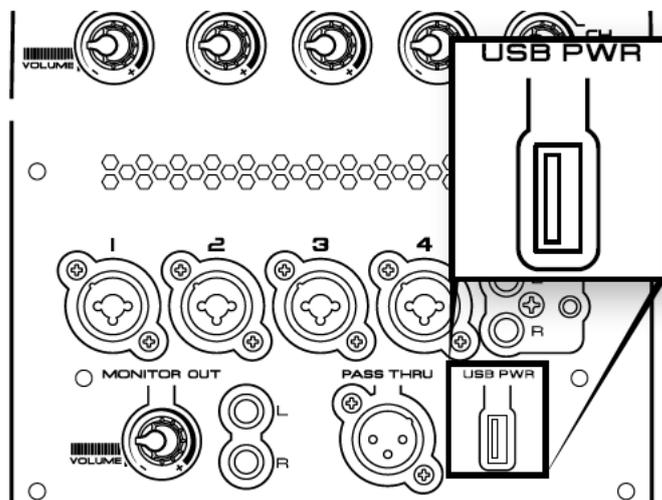
他の JBL EON ONE PRO に接続して高出力オーディオシステムを構築します



ステレオモニターとボリューム
レコーディング機器やモニター
スピーカーなどの PA 機器
に接続します

PATH THRU
他の JBL EON ONE PRO
に接続して高出力オーディオ
システムを構築します

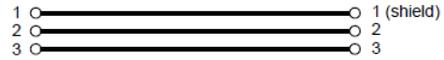
USB PWR



USB ケーブルを接続して、Bluetooth 対応デバイスやポータブル・ミュージック・プレーヤー
などの充電に使用できます。

ケーブル

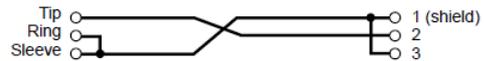
XLR/F - XLR/M マイクケーブル



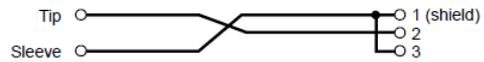
TRS フォン(バランス) - XLR/M



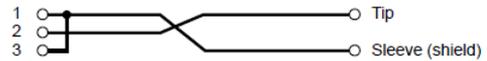
TRS フォン(アンバランス) - XLR/M



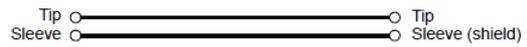
TS フォン(アンバランス) - XLR/M



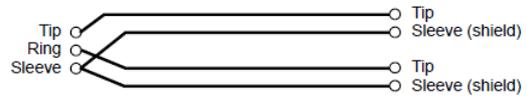
XLR/M - RCA



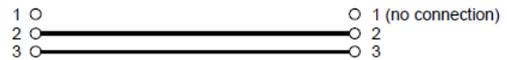
TS フォン(アンバランス) - RCA



TRS フォン(アンバランス) - デュアルフォン



XLR/F - XLR/M グランドリフト・アダプター



故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
電源がONにならない	電源コードがコンセントに差し込まれていない	電源コードをコンセントに差し込んでください
	電源スイッチが ON になっていない	電源スイッチを ON にして POWER LED が点灯することを確認してください
	電源コードに不具合がある	正常な電源コードに交換してください
	コンセントの電圧が AC100V 以下になっている	コンセントの電圧が AC100V になっていることを確認してください
電源が ON になっているのに音が出ない、または非常に小さい	入力信号レベルが小さすぎる	音源のマスターボリュームやゲインを上げてください
	スピーカーのマスターボリュームやゲインが小さすぎる	スピーカーのマスターボリュームやゲインを上げてください
	機器の接続に問題がある	機器を正しく接続してください
	接続ケーブルに不具合がある	正常なケーブルに交換してください
MIC/LINE にマイクを繋いでも音が出ない	MIC/LINE 設定が LINE になっている	MIC/LINE 設定を MIC 側に切り替えてください
音が歪む。	入力信号レベルが大きすぎる	音源の出力信号レベルを下げてください
	スピーカーのマスターボリュームやゲインが大きすぎる	スピーカーのマスターボリュームやゲインを下げてください
ボリュームは十分小さいにもかかわらずノイズが発生する。	ミキサー側が過負荷になっている	ミキサー側の入力ゲインやフェーダーを調整してください
	MIC/LINE 設定が MIC になっている	MIC/LINE 設定を LINE 側に切り替えてください
	接続ケーブルに不具合がある	正常なケーブルに交換してください

	アースが正しく接続されていない	アース接続を確認する 信号ケーブルを電源コードや照明ケーブルから離してください
	長いアンバランス・ケーブルを使用している	音源に装備されている場合、バランス出力を使用してください。無い場合はDIボックスを使用してアンバランス接続をバランス接続に変えてください



※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。
また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。